



# ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する 情報を表示する ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

# 目次

ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する .....	1
ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報の概要を表示する .....	1
NTFSセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示 .....	2
mixedセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示する .....	8
UNIXセキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します .....	12
CLIを使用したFlexVolのNTFS監査ポリシーに関する情報の表示 .....	14
CLIを使用してFlexVolのNFSv4監査ポリシーに関する情報を表示する .....	17
ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する方法 .....	18

# ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する

## ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報の概要を表示する

Storage Virtual Machine (SVM) のボリュームに格納されたファイルとディレクトリのファイルセキュリティに関する情報を表示できます。FlexVolの監査ポリシーに関する情報を表示できます。設定されている場合、FlexVolボリュームのストレージレベルのアクセス保護およびダイナミックアクセス制御セキュリティの設定に関する情報を表示できます。

### ファイルセキュリティに関する情報の表示

次のセキュリティ形式のボリュームおよびqtree (FlexVolボリュームの場合) に格納されたデータに適用されているファイルセキュリティに関する情報を表示できます。

- NTFS
- UNIX
- mixed

### 監査ポリシーに関する情報の表示

次のNASプロトコルを介したFlexVolボリュームのアクセスイベントを監査する監査ポリシーに関する情報を表示できます。

- SMB (すべてのバージョン)
- NFSv4.x

### ストレージレベルのアクセス保護 (SLAG) セキュリティに関する情報の表示

ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、次のセキュリティ形式のFlexVolボリュームおよびqtreeオブジェクトに適用できます。

- NTFS
- mixed
- UNIX (ボリュームが格納されたSVMでCIFSサーバが設定されている場合)

### ダイナミックアクセス制御 (DAC) セキュリティに関する情報の表示

ダイナミックアクセス制御セキュリティは、次のセキュリティ形式のFlexVol volume内のオブジェクトに適用できます。

- NTFS
- mixed (オブジェクトにNTFS対応のセキュリティが設定されている場合)

## NTFSセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、DOS属性に関する情報など、NTFSセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

### タスクの内容

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力は要約形式で表示することも、詳細なリストとして表示することもできます。

- NTFSセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、ファイルアクセス権の決定時にNTFSファイル権限およびWindowsのユーザおよびグループのみが使用されるため、UNIX関連の出力フィールドには表示専用のUNIXファイル権限情報が表示されます。
- ACL出力は、NTFSセキュリティが適用されたファイルとフォルダについて表示されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティはボリュームのルートまたはqtreeで設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、通常のファイルACLとストレージレベルのアクセス保護ACLの両方が表示されることがあります。
- 指定したファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されている場合は、ダイナミックアクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。

### ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細を表示	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

### 例

次の例では、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示し `vol4` ます。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /vol4
```

```
                Vserver: vs1
                File Path: /vol4
File Inode Number: 64
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
                ACLs: NTFS Security Descriptor
                Control:0x8004
                Owner: BUILTIN\Administrators
                Group: BUILTIN\Administrators
                DACL - ACEs
                ALLOW-Everyone-0x1f01ff
                ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例では、マスクを展開して、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示します  
/data/engineering。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path -path  
/data/engineering -expand-mask true
```

```
                Vserver: vs1
                File Path: /data/engineering
File Inode Number: 5544
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... .... 0... .... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
```

```

    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
    Control:0x8004

```

```

    1... .. = Self Relative
    .0.. .. = RM Control Valid
    ..0. .. = SACL Protected
    ...0 .. = DACL Protected
    .... 0... .. = SACL Inherited
    .... .0.. .. = DACL Inherited
    .... ..0. .. = SACL Inherit Required
    .... ...0 .. = DACL Inherit Required
    .... .... .0. .... = SACL Defaulted
    .... .... ...0 .... = SACL Present
    .... .... .... 0... = DACL Defaulted
    .... .... .... .1.. = DACL Present
    .... .... .... ..0. = Group Defaulted
    .... .... .... ...0 = Owner Defaulted

```

```

Owner: BUILTIN\Administrators
Group: BUILTIN\Administrators
DACL - ACEs

```

```

ALLOW-Everyone-0x1f01ff

```

```

0... .. =
Generic Read
.0.. .. =
Generic Write
..0. .. =
Generic Execute
...0 .. =
Generic All
.... .0 .. =
System Security
.... .... 1 .. =
Synchronize
.... .... .... 1... .. =
Write Owner
.... .... .... .1.. .. =
Write DAC
.... .... .... ..1. .... =
Read Control
.... .... .... ...1 .. =
Delete

```

```

.....1..... =
Write Attributes

.....1..... =
Read Attributes

.....1..... =
Delete Child

.....1..... =
Execute

.....1..... =
Write EA

.....1..... =
Read EA

.....1..... =
Append

.....1..... =
Write

.....1..... =
Read

ALLOW-Everyone-0x10000000-OI|CI|IO
0..... =
Generic Read

.0..... =
Generic Write

..0..... =
Generic Execute

...1..... =
Generic All

.....0..... =
System Security

.....0..... =
Synchronize

.....0..... =
Write Owner

.....0..... =
Write DAC

.....0..... =
Read Control

.....0..... =
Delete

.....0..... =
Write Attributes

.....0..... =
Read Attributes

.....0..... =
Delete Child

```

```
.....0. .... =
Execute
.....0 .... =
Write EA
.....0... =
Read EA
.....0... =
Append
.....0. =
Write
.....0 =
Read
```

次の例では、SVM vs1のパスにあるボリュームの、ストレージレベルのアクセス保護セキュリティ情報を含むセキュリティ情報を表示します /datavol1。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/datavol1
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /datavol1
File Inode Number: 77
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
        Control:0x8004
        Owner: BUILTIN\Administrators
        Group: BUILTIN\Administrators
        DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff
            ALLOW-Everyone-0x10000000-OI|CI|IO

Storage-Level Access Guard security
SACL (Applies to Directories):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
DACL (Applies to Directories):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
SACL (Applies to Files):
    AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
    AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
DACL (Applies to Files):
    ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
    ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
    ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
```

#### 関連情報

[mixedセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

[UNIXセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

# mixedセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示する

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIXの所有者とグループに関する情報など、mixedセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

## タスクの内容

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力は要約形式で表示することも、詳細なリストとして表示することもできます。

- mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびフォルダと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。
- mixedセキュリティ形式のボリュームの最上位では、UNIX対応またはNTFS対応のセキュリティを設定できます。
- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたはqtreeの有効なセキュリティ形式がUNIXであっても、mixedセキュリティ形式のボリュームまたはqtreeで設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、UNIXファイル権限とストレージレベルのアクセス保護ACLの両方が表示されることがあります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。

## ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細を表示	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

## 例

次の例では、マスクを展開した形式で、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示します /projects。このmixedセキュリティ形式のパスには、UNIX対応のセキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/projects -expand-mask true

          Vserver: vs1
          File Path: /projects
    File Inode Number: 78
          Security Style: mixed
    Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... ...0... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

次の例は、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示します /data。このmixedセキュリティ形式のパスには、NTFS対応のセキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /data
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /data
    File Inode Number: 544
          Security Style: mixed
          Effective Style: ntfs
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 0
          Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
          ACLs: NTFS Security Descriptor
                Control:0x8004
                Owner: BUILTIN\Administrators
                Group: BUILTIN\Administrators
                DACL - ACEs
                    ALLOW-Everyone-0x1f01ff
                    ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例では、SVM vs1のパスにあるボリュームに関するセキュリティ情報を表示します /datavol5。このmixedセキュリティ形式のボリュームの最上位には、UNIX対応のセキュリティが設定されています。ボリュームにはストレージレベルのアクセス保護セキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /datavol5
```

```
      Vserver: vs1
      File Path: /datavol5
File Inode Number: 3374
      Security Style: mixed
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 755
Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x
      ACLs: Storage-Level Access Guard security
      SACL (Applies to Directories):
          AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
          AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
          AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Directories):
          ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
          ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
          ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
      SACL (Applies to Files):
          AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
          AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
          AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Files):
          ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
          ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
          ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
          ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
```

#### 関連情報

[NTFSセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

[UNIXセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

# UNIX セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIXの所有者とグループに関する情報など、UNIXセキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

## タスクの内容

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、およびファイルまたはディレクトリのセキュリティ情報を表示するデータのパスを指定する必要があります。出力は要約形式で表示することも、詳細なリストとして表示することもできます。

- ファイルアクセス権の決定時に、UNIXセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）のみが使用されます。
- ACL出力は、NFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NFSv4セキュリティ記述子の場合には適用されません。

NTFSセキュリティ記述子でのみ意味があります。

- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、SVMでCIFSサーバが設定されている場合、UNIXのボリュームまたはqtreeでサポートされるため、パラメータで指定したボリュームまたはqtreeに適用されるストレージレベルのアクセス保護セキュリティに関する情報が出力に含まれることがあります `-path`。

## ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細を表示	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

## 例

次の例では、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示し `home` ます。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /home
    File Inode Number: 9590
          Security Style: unix
          Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
    Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

次の例では、マスクを展開した形式で、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示します /home。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
-expand-mask true
```

```
          Vserver: vs1
          File Path: /home
    File Inode Number: 9590
          Security Style: unix
          Effective Style: unix
          DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... .... .... = Offline
    .... ..0. .... .... = Sparse
    .... .... 0... .... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
          Unix User Id: 0
          Unix Group Id: 1
          Unix Mode Bits: 700
    Unix Mode Bits in Text: rwx-----
          ACLs: -
```

## CLIを使用したFlexVolのNTFS監査ポリシーに関する情報の表示

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、システムアクセス制御リストに関する情報など、FlexVolのNTFS監査ポリシーに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、監査に関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

### タスクの内容

Storage Virtual Machine (SVM) の名前、および監査情報を表示するファイルまたはフォルダのパスを指定する必要があります。出力は要約形式で表示することも、詳細なリストとして表示することもできます。

- NTFSセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、NTFSのシステムアクセス制御リスト (SACL) のみが監査ポリシーに使用されます。
- NTFS対応のセキュリティが有効なmixedセキュリティ形式のボリューム内のファイルやフォルダには、NTFS監査ポリシーを適用できます。

mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびディレクトリと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。

- mixedセキュリティ形式のボリュームの最上位には、UNIX対応またはNTFS対応のセキュリティを設定でき、NTFS SACLが格納されている場合と格納されていない場合があります。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたはqtreeの有効なセキュリティ形式がUNIXであっても、mixedセキュリティ形式のボリュームまたはqtreeで設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、通常のファイルおよびフォルダのNFSv4 SACLとストレージレベルのアクセス保護NTFS SACLの両方が表示されることがあります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御ACEに関する情報も出力に表示されます。
- NTFS対応のセキュリティが有効なファイルおよびフォルダに関するセキュリティ情報を表示する場合、UNIX関連の出力フィールドに表示専用のUNIXファイル権限情報が表示されます。

ファイルアクセス権の決定時に、NTFSセキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは、NTFSファイル権限とWindowsユーザおよびグループのみが使用されます。

- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルやフォルダでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されません。

## ステップ

1. ファイルおよびディレクトリ監査ポリシーの設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細なリスト	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

## 例

次の例は、SVM vs1のパスの監査ポリシーの情報を表示します /corp。パスにはNTFS対応のセキュリティが設定されています。NTFSセキュリティ記述子には、SUCCESSおよびSUCCESS / FAIL SACLエントリの両方が含まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /corp
      Vserver: vs1
      File Path: /corp
      File Inode Number: 357
      Security Style: ntfs
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
      Control:0x8014
      Owner:DOMAIN\Administrator
      Group:BUILTIN\Administrators
      SACL - ACEs
      ALL-DOMAIN\Administrator-0x100081-OI|CI|SA|FA
      SUCCESSFUL-DOMAIN\user1-0x100116-OI|CI|SA
      DACL - ACEs
      ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-BUILTIN\Users-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff-OI|CI
```

次の例は、SVM vs1のパスの監査ポリシーの情報を表示します /datavol1。このパスには、通常のファイルとフォルダのSACLとストレージレベルのアクセス保護のSACLの両方が含まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/datavol1
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /datavol1
    File Inode Number: 77
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
    Control:0xaa14
    Owner: BUILTIN\Administrators
    Group: BUILTIN\Administrators
    SACL - ACEs
        AUDIT-EXAMPLE\marketing-0xf01ff-OI|CI|FA
    DACL - ACEs
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Admins-0x1f01ff-OI|CI
        ALLOW-EXAMPLE\marketing-0x1200a9-OI|CI

    Storage-Level Access Guard security
    SACL (Applies to Directories):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Directories):
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
    SACL (Applies to Files):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Files):
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
```

# CLIを使用してFlexVolのNFSv4監査ポリシーに関する情報を表示する

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、システムアクセス制御リスト（SACL）に関する情報など、ONTAP CLIを使用してFlexVolのNFSv4監査ポリシーに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、監査に関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

## タスクの内容

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、および監査情報を表示するファイルまたはディレクトリのパスを入力する必要があります。出力は要約形式で表示することも、詳細なリストとして表示することもできます。

- UNIXセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeでは、監査ポリシーにNFSv4 SACLのみが使用されません。
- mixedセキュリティ形式のボリュームにあるUNIXセキュリティ形式のファイルとディレクトリには、NFSv4監査ポリシーを適用できます。

mixedセキュリティ形式のボリュームおよびqtreeは、UNIXファイル権限（モードビットまたはNFSv4 ACL）を使用するファイルおよびディレクトリと、NTFSファイル権限を使用するファイルおよびディレクトリを格納できます。

- mixedセキュリティ形式のボリュームの最上位では、UNIXまたはNTFS対応のセキュリティを有効にすることができ、NFSv4 SACLが含まれる場合と含まれない場合があります。
- ACL出力は、NTFSまたはNFSv4セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットの権限のみ（NFSv4 ACLはなし）が適用されているUNIXセキュリティ形式のファイルやフォルダでは空になります。

- ACL出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFSセキュリティ記述子の場合にのみ適用されません。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたはqtreeの有効なセキュリティ形式がUNIXであっても、mixedセキュリティ形式のボリュームまたはqtreeで設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたはqtreeパスの出力には、標準のNFSv4ファイルおよびディレクトリのSACLとストレージレベルのアクセス保護のNTFS SACLの両方が表示される場合があります。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、SVMでCIFSサーバが設定されている場合、UNIXのボリュームまたはqtreeでサポートされるため、パラメータで指定したボリュームまたはqtreeに適用されるストレージレベルのアクセス保護セキュリティに関する情報が出力に含まれることがあります `-path`。

## 手順

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>

表示する情報	入力するコマンド
詳細を表示	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</code>

例

次の例は、SVM vs1のパスに関するセキュリティ情報を表示します /lab。この UNIX セキュリティ形式のパスには NFSv4 SACL が設定されています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /lab

          Vserver: vs1
          File Path: /lab
File Inode Number: 288
  Security Style: unix
Effective Style: unix
  DOS Attributes: 11
DOS Attributes in Text: ----D--R
Expanded Dos Attributes: -
  Unix User Id: 0
  Unix Group Id: 0
  Unix Mode Bits: 0
Unix Mode Bits in Text: -----
          ACLs: NFSV4 Security Descriptor
          Control:0x8014
          SACL - ACEs
                SUCCESSFUL-S-1-520-0-0xf01ff-SA
                FAILED-S-1-520-0-0xf01ff-FA
          DACL - ACEs
                ALLOW-S-1-520-1-0xf01ff
```

## ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する方法

ワイルドカード文字 (\*) を使用すると、特定のパスまたはルートボリュームの下にあるすべてのファイルおよびディレクトリのファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示できます。

ワイルドカード文字 (\*) は、すべてのファイルおよびディレクトリの情報を表示する特定のディレクトリパスの最後のサブコンポーネントとして使用できます。「\*」という名前の特定のファイルまたはディレクトリの情報を表示する場合は、二重引用符 (「`) で完全なパスを指定する必要があります。

例

次のコマンドでワイルドカード文字を使用すると、SVM vs1のパスの下にあるすべてのファイルとディレクトリに関する情報が表示されます。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /1/*

      Vserver: vs1
      File Path: /1/1
      Security Style: mixed
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8514
            Owner: BUILTIN\Administrators
            Group: BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)

      Vserver: vs1
      File Path: /1/1/abc
      Security Style: mixed
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8404
            Owner: BUILTIN\Administrators
            Group: BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)
```

次のコマンドは、SVM vs1のパスの下にある「\*」という名前のファイルの情報を表示します /vol1/a。パスは二重引用符（"）で囲まれます。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
"/voll/a/*"
```

```
      Vserver: vs1
      File Path: "/voll/a/*"
      Security Style: mixed
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
          Unix User Id: 1002
          Unix Group Id: 65533
          Unix Mode Bits: 755
      Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x
          ACLs: NFSV4 Security Descriptor
              Control:0x8014
              SACL - ACEs
                  AUDIT-EVERYONE@-0x1f01bf-FI|DI|SA|FA
              DACL - ACEs
                  ALLOW-EVERYONE@-0x1f00a9-FI|DI
                  ALLOW-OWNER@-0x1f01ff-FI|DI
                  ALLOW-GROUP@-0x1200a9-IG
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。